



第8回 十和田市立中央病院 web 連携の集い

地域医療連携室

令和2年12月22日(火)18:30より、第8回十和田市立中央病院「連携の集い」が開催されました。今年には新型コロナウイルスの影響もあり、例年通り一堂に会する形式での集い開催とはいかなかったもののZoomクラウドミーティングを活用した「web 連携の集い」にて地域の医療介護事業者と連携を図ることが出来ました。参加者は55user、延べ138名となりました。



「連携の集い」講演テーマ・演者紹介

① 嚥下内視鏡外来～イトロスを防ぐために～	総合内科 外崎奏汰先生
② 骨粗しょう症リエゾンサービスの現状と今後の課題	整形外科診療部長 板橋泰斗先生
③ 在宅看取りをはじめて…あれから12年	訪問看護ステーションえがお所長 南輝美先生
④ 小規模多機能型居宅介護での看取り	合同会社くらしラボ代表 橘友博先生



2月の
市民
健やか
ゼミナール

テーマ「検査のプロが教えるウイルス性肝炎の豆知識」

講師：臨床検査科 臨床検査技師／青森県肝炎医療コーディネーター 前山宏太

日時：2月24日(水)午後4時～5時

場所：当院 別館2階講堂 予約不要／参加無料

参加者には〈健康とわだポイントラリー〉10ポイント!



入口で手指消毒
を行っていき
マスクの着用を
お願い致します。



外来担当医表

※随時更新しておりますので、下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/old/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>



三本木小学校の皆さんから激励のメッセージをいただきました



去る12月9日、十和田市立三本木小学校6年生の代表者3名と校長先生が当院丹野事業管理者を訪問し、6年生の皆さんの激励メッセージを届けてくださいました。



三本木小学校では、「絆～つなぐる」をテーマに、医療従事者への感謝とともに感染予防の大切さを学習しており、今回のメッセージを制作したとのことで、丹野事業管理者は「皆さんの励ましが本当に力になります。いっしょにがんばりましょう」と応じていました。



寄付採納

青森県自動車整備十和田協会様より当院へ、金10万円のご寄付をいただき、1月14日に市役所にて贈呈式が行われました。式には中野渡聖賢同協会会長、吹田正利副会長、および小山田市長、当院事務局長中谷が出席いたしました。

中野渡会長は「寄付は協会の50周年記念事業の一環で約100名の会員が積み立てていたもの。コロナ対策に少しでも役に立てばと思っています。」と話され、市長は「コロナ禍はまだ続いており、対策には経費もかかるため大変ありがたいことです。」などお礼を述べました。記念事業では当院のほか、十和田交通安全母の会様にも寄付されるそうです。いただいたご厚意は地域を守る医療のため大切に活用して参ります。



2020年度医療安全事例発表会



1月16日、「2020年度医療安全事例発表会」が開催されました。この発表会は、日頃の医療安全管理の改善への取り組みを発表・共有することにより、さらなる安全な医療体制の構築を目指し毎年行われています。事例発表後には「スローガン大賞」の発表があり医療安全管理対策委員長の高橋院長より表彰状と副賞の授与が行われました。



今年度スローガン大賞

「守ろう個人情報☆
教えない！漏らさない！」
優秀賞 医事課
最優秀賞 臨床検査科
「危険予知 転ばぬ先のプロの技
未然に防げ医療事故」